

2024 年度 第 9 回 地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院  
治験審査委員会 会議記録の概要

開催日時	2025 年 2 月 19 日 (水) 16:30 ~ 18:00
開催場所	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院 多目的ホール
出席委員名	塚本 克彦、小山 敏雄、松本 香織、飯野 昌樹、金丸 和也、 滝澤 壮一、小野 美穂、磯部 陽呼、丸山 雅之、山田 諒、 岸本 里香、金高 昌代、奥野 雅嗣
議事録及び 審議結果を 含む主な論 議の内容	<p>議題 1 武田薬品工業株式会社の依頼による慢性の一次性免疫性血小板減少症患者を対象とした、 TAK-079 (mezagitamab) の第 3 相試験 当該治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題 2 ファイザー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimod の第 3 相非 盲検試験 当該治験等で発生した重篤な副作用等 (海外) の報告を受け、引き続き治験を実施するこ との妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題 3 (治験国内管理人) シミック株式会社の依頼による慢性特発性血小板減少性紫斑病を有す る日本人成人患者を対象として血小板減少症の治療における avatrombopag の有効性及 び安全性を評価する非盲検試験 治験薬概要書の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等 (当院及び海外) の報告を受 け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題 4 日本イーライリリー株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした LY3540378 の第 II 相試験 当該治験等で発生した重篤な副作用等 (海外) の報告を受け、引き続き治験を実施するこ との妥当性について審議した。 また、治験の中止が報告された。 審議結果：承認</p>

#### 議題 5

ファイザー株式会社の依頼による非分節型尋常性白斑を有する治験参加者を対象にリトレチニブの有効性、安全性および忍容性を評価する第3相試験  
治験薬概要書の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告、研究報告、**Protocol Deviation Alert Letter**を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

#### 議題 6

ヤンセンファーマ株式会社の依頼による JNJ-78934804 の後期第II相試験  
治験薬概要書、治験実施計画書の変更を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

#### 議題 7

ヤンセンファーマ株式会社の依頼による抗 CD38 モノクローナル抗体及びレナリドミドを含む 1～3 ラインの前治療歴がある再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象に、**teclistamab** 単剤療法と、ポマリドミド、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン（PVd）又はカルフィルゾミブ及びデキサメタゾン（Kd）併用療法を比較する第3相ランダム化試験  
当該治験等で発生した重篤な副作用等（国内及び海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

#### 議題 8

ヤンセンファーマ株式会社の依頼による温式自己免疫性溶血性貧血の成人患者における M281 の有効性及び安全性：長期非盲検継続投与期間を含む多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験

当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

#### 議題 9

バイエル薬品株式会社の依頼による急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスク TIA 発症後の患者を対象に経口 FXIa 阻害薬 **asundexian**（BAY 2433334）の有効性及び安全性を検討する第III相試験

当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告、年次報告、治験実施状況報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 10

ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による特発性血小板減少性紫斑病患者を対象とした VAY736 の第Ⅲ相試験

当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 11

ヤンセンファーマ株式会社の依頼による自家幹細胞移植に非適応又は初回治療として自家幹細胞移植を予定していない未治療の多発性骨髄腫患者を対象とした teclistamab とダラツムマブ皮下投与製剤及びレナリドミドの併用（Tec-DR）並びに talquetamab とダラツムマブ皮下投与製剤及びレナリドミドの併用（Tal-DR）と、ダラツムマブ皮下投与製剤、レナリドミド及びデキサメタゾンの併用（DRd）を比較する第 3 相ランダム化試験

治験実施計画書、治験薬概要書補遺の変更、治験実施状況報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 12

第一三共株式会社の依頼による非小細胞肺癌を対象とした DS-1062a の第Ⅲ相試験

被験者の募集の手順（広告等）に関する資料の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（国内及び海外）の報告、年次報告、措置報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 13

アヅヴィ合同会社の依頼による全身療法の適応となる非分節型白斑の成人及び青少年患者を対象にウパダシチニブの有効性、安全性及び忍容性を評価する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検試験

治験薬概要書の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 14

第一三共株式会社の依頼による非小細胞肺癌を対象とした DS-1062a の第Ⅲ相試験 ADMINISTRATIVE CHANGE DOCUMENT Change No. : 3.0、被験者の募集の手順（広告等）に関する資料の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（国内及び海外）の報告、年次報告、措置報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

議題 15

MSD 株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象に MK-7240 を投与した際の有効性と安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検試験  
治験実施計画書別紙 1、治験実施計画書に関する連絡の変更を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

議題 16

ファイザー株式会社の依頼による、尋常性白斑患者を対象とした PF-06651600 の第Ⅲ相試験  
治験薬概要書の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告、研究報告、Protocol Deviation Alert Letter、治験実施状況報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

議題 17

アストラゼネカ株式会社の依頼による高蛋白尿を伴う慢性腎臓病患者を対象に、ジボテンタン／ダパグリフロジン配合剤の有効性、安全性、及び忍容性をダパグリフロジン単剤と比較する第 III 相試験  
当該治験等で発生した重篤な副作用等（国内及び海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

議題 18

アストラゼネカ株式会社の依頼による高血圧を合併する CKD 患者を対象とした、baxdrostat とダパグリフロジンの第 III 相試験  
治験薬概要書の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告、年次報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

	<p>議題 19</p> <p>MSD 株式会社の依頼による中等症から重症の活動期クローン病患者を対象に MK-7240 (tulisokibart) を投与した際の有効性と安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検試験</p> <p>治験実施計画書に関する連絡文書、説明文書、同意文書の変更を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題 20</p> <p>Regeneron Pharmaceuticals, Inc.の依頼による再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象とした LIVOSELTAMAB をエロツズマブ+ ポマリドミド+ デキサメタゾンの併用療法と比較した第Ⅲ相試験</p> <p>治験実施計画書 別紙の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（国内及び海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題 21</p> <p>日本イーライリリー株式会社の依頼による LY3041658(Eltrekibart)の第Ⅱ相試験</p> <p>見積書の変更、当該治験等で発生した重篤な副作用等（海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題 22</p> <p>ファイザー株式会社の依頼による、多発性骨髄腫患者を対象としたエルラナタマブ (PF-06863135) の第Ⅲ相試験</p> <p>当該治験等で発生した重篤な副作用等（国内及び海外）の報告を受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p>
特記事項	